

南郷高PTA新聞

第59号 2019年10月15日発行



発行 宮城県南郷高等学校 PTA

〒989-4204

宮城県遠田郡美里町大柳字天神原7

電話 0229 (58) 1122

印刷 三和印刷所

CONTENTS

PTA会長挨拶	1
学校長挨拶	2
年次総会報告	2
高P連大崎支部通常総会報告	3
令和元年度教職員紹介	3
教育講演会に出席して	3
PTA活動報告	4
PTA活動について(御案内)	4
編集後記	4



旭山探検学習

PTA会長あいさつ

PTA会長
西海土 久美子

今年度のPTA会長を務めさせていただくことになりました、西海土と申します。昨年度娘が入学し、学年委員長と評議員としてPTA活動に携わってまいりましたが、今年度はそれに加えて、PTA会長という大役を引き受けさせていただきます、改めて責任の重さを実感しております。

保護者のみなさまにおかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は本校PTA活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

南郷高校では保護者が参加できる行事が盛んで、旭山探検学習での豚汁作り、南郷高祭でのバザーコーナーと喫茶コーナーの運営、マラソン大会での豚汁とおにぎり作りなどがあり、生徒たちが楽しんでいる表情や、がんばっている姿を近くで見ることが出来ます。他にも芸術鑑賞会や講演会などがあり、生徒たちとともに学べる機会も多いです。

我が子が年齢を重ねるにつれ、いっしょに過ごせる時間が減っていく中で、家族と過ごしている時とは違った表情や、成長を見られるということは大変喜ばしいことです。

また、校長先生をはじめ、先生方におかれましては、生徒たちに対し、常に優しく、時には厳しく、そして根気強く、ひとりひとりに親身になって日々導いてくださっていることに感謝申し上げます。先生方の熱心なご指導があつてこそ、今の輝かしい南郷高校があるのだろうと思っております。

生徒たちにとって南郷高校での三年間は、その後の人生においてとても思い出深く大切なものになると思われまます。貴重な一日一日が健全なる育成に役立つには、PTAのみなさまのご助力が不可欠だと思っております。

私では力不足なことは重々承知ですが、令和三年に創立九十周年を迎える歴史と伝統のある南郷高校のPTA会長として、みなさまのお力添えをいただきながら、一年間精一杯力を尽くしていこうと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

アメリカの思い出

校長 佐藤 善則



日本では見たことのない壮大な自然の光景の中を、車で走り抜ける爽快感。ほまっすぐにどこまでも続くハイウェイ。

突き抜けるような青色の空。それとは対照的な赤茶色や黄色の大地。およそ三十マイルごとにガソリンスタンドで給油したり売店でコーヒーを飲んだりしながら、運転し続ける。夜は老若男女で溢れかえるモーターに泊まり、数日間をかけて目的地へ辿り着く。

これは、私がアメリカで経験した一場面です。「いつかまとまった時間ができたら、アメリカの東海岸から西海岸までを車で横断する旅をしてみたい」と考える方は結構いらつしやるようで、私もその一人です。一ヶ月をかけて、アメリカの夢と現実を見聞するのです。

昔私が過ごしたアメリカは、広大で多様な国でした。そして、様々な問題に対して、明るく、前向きに立ち向かうとする人々をたくさん目にしました。日本にはないこととして真っ先に実感したのは、多様な人種の存在です。ここには根深い問題が存在しますが、真剣に関わり解決しようとする人々にも出会いました。「簡単に解決できない問題についてむやみに嘆いていても仕方がない。だったらやれることをしっかりとやった上で、せめて私たちは私たちが楽しく過ごそうよ」というように、前向きに人生を楽しむことを忘れない生活姿勢が目立っていたように思います。

アメリカと言えば、英語の存在から逃れることはできません。私たちは、

中学校から（今は小学校から）大学まで学校教育で英語の勉強にかなり多くの時間を費やしています。教育の在り方も今後スピーキングを重視する方向に変わりつつあります。それでも、英語文化圏の実生活の中で使われている現実の英語を学ぶことは容易ではありません。

シアトルではバスを使つて移動していました。バスを降りるときには乗客は「Have a nice day」と「Thank you」や「Have a nice trip」などと軽く言葉を交わすのが習慣です。ある日、私はたまたま最後に降りることになり、金曜日の夕方だったの「Have a nice weekend」と言つて降りようとする、年配の男性ドライバーが「You bet I will」と言いその後文を一つ二つ加えたのです。このときに聞いた「You bet I will」(もちろんや)というニュアンスの表現が、その発音と言ひ方のスピード、答えるときの間という点で、ドライバーの低い低音と相まって、「完璧」な言葉に聞こえたのです。「格好いい英語だったなあ」と思い真似てみたのですが、どうしてもそのドライバーのようにはできません。

今でも、その英語の音の感覚こそが英語学習の本当の基礎・基本のよう感じている次第です。英語は、やはり現実の中で使われてこそ意味のあるものだと思います。

戦争が終わって七十四年、アメリカと日本の関係にも変化の兆しが見えつつあります。英語という外国語をどのように扱うかという重要な教育課題を含めて、アメリカという国の肯定的な生活姿勢から学ぶと同時に、日本人としてのアイデンティティを確認するためにも、アメリカという国の行方をしっかりと見続けていくと考える今日この頃です。

年次総会の報告

四月二十七日(土)に本校体育館にて、平成三十一年度の年次総会が開催されました。昨年度一年間の事業報告、決算報告、そして、今年一年間の事業計画、予算案が無事に承認され、新しい令和の時代の活動がスタートいたしました。そして、今年度の本部役員として、以下の皆様が承認されました。一年間よろしくお願い申し上げます。

会長	西海 土 久美子 (2年聖姫)
副会長	佐藤 裕美 (3年晃司)
会計	今野 春美 (1年翔・匠)
監事	阿部 寛 (2年結加)
評議員	菅野 利枝 (1年友愛)
	及川 たえ子 (3年愛海)
	佐野 美香 (2年魁)
	西海 土 久美子 (2年聖姫)
	佐藤 裕美 (3年晃司)
	今野 春美 (1年翔・匠)
	千葉 努 (2年哉汰)
	森下 久恵 (3年拓海)
	吉田 幸江 (3年百花)

祝 感謝状を贈呈

本校PTA活動にご尽力されました旧役員の方々に感謝状を贈呈致しました。



感謝状贈呈



PTA新役員任命

会長が務めます。PTA会員の皆様のご協力をいただきながら責任を果たしていけるようPTA役員及び事務局一同、しっかりと取り組んで参ります。

宮城県高P連大崎支部 通常総会報告

教頭 千葉 貢

去る五月二十四日(金)午後四時から、大崎市の「グラント平成」において、令和元年度宮城県高等学校PTA連合会大崎支部通常総会が開催されました。本校からは西海土久美子PTA会長、一條良勝前PTA会長、事務局局長(教頭)の三名が出席しました。

支部事務局は、昨年度担当の古川黎明高校から松山高校へ引き継がれました。

総会では令和元年度の大崎支部事業計画(案)及び予算(案)等が承認され、今年度の東北大会(山形県)、全国大会(京都府)について確認されました。また、総会終了後の教育懇談会では各校で趣向を凝らした近況報告などが行われ、楽しい時間となりました。

今年度は、本校に県の専門委員である健全育成委員と県理事、そして大崎支部においては副支部長を西海土PTA



令和元年度 教職員紹介

事務室長 須藤 裕司		講師(非常勤) 武田 瑞樹		主任技師 (農場業務) 大友 正人		主任主査 (事務次長) 佐藤 智光		主事 細浦 悠		講師(非常勤) 津幡 聖平		実習講師 早坂 史郎		実習助手 松野 和史		講師(非常勤) 阿部 勝英	
連携コーディネーター 橋爪 秀明		教諭 摺澤 大輔		講師(6-6) 相澤 輝		教諭 石川 隆男		教諭 佐藤 栄聡		教諭 渡部 剛実		講師(非常勤) 狩野幸一郎		技師 斎藤 邦春		教諭 木村 州哉	
心のケア支援員 千葉 和子		講師(非常勤) 庄司詩寿子		実習助手 市川 夏美		教諭 戸村 絵理		教諭 菅原 暁子		教諭 菊地 裕美		養護教諭 内海とき恵		主査(学校司書) 鈴木 輝子		教諭 山田 利佳	
教諭 鈴木 将夫		教諭 三浦 秀雄		教諭 渋谷 智樹		教諭 宮本 智		校長 佐藤 善則		教頭 千葉 貢		教諭 長岡 樹		教諭 佐藤 隆晃		教諭 小室 恒	



山元先生の話聴く
(講演会)

今年、四月二十七日、「君たちが自立するために」というタイトルで、南郷高校の山本隆三先生による、教育講演会に出席いたしました。まず、講演の中で、私が考えさせられ、心に留めたことは、「自分が出来ること」、「楽しいこと」、「頑張れること」が大切で、自分が自分を好きでいることが一番大切であるということです。

そこから生活が成り立っていく、そして、自分が好きになれる生活を送れることが大切であることです。親は、時には良かれと思い、子どもへ自分の考えを押しつけて「べき論」を言います。しかし、本人が好きじゃないことを、「〇〇すべきだ。」と言われてやっていると、うまくいかない場合には、幸せになれない。本当に自分がやりたい事、好きな事、好きな物を大切にすることが一番育てる中で大切で、人としての基盤であると改めて感じました。

子ども達には、これからの学校、社会生活の中で、山本先生から話された講演会を思い出して欲しいと思います。人は、孤独があっても孤立はしないという言葉。学校生活の中でも悩み苦しむことがあると思います。そんな時は、周りの友達、先生方、スクールカウンセラーの存在、そして、親の存在があります。無関心ということほど怖いものはありません。一人ひとり子ども達に関心をもち、ちよとした変化に気付けるように、私自身も過さず、いきなりたいと思います。

貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。

令和元年度
南郷高校カウンセラー講演会に出席して
会計 菅野 利枝

副会長 佐藤 裕美

毎年恒例の旭山探検学習。今年初めて参加することができました。当日は、朝から晴天で、探検日和。生徒達と教職員の皆様が一緒に、出発しました。朝に、食品加工棟で食材を切り、車に分乗して旭山へ運搬します。想像以上に遠く、生徒達が皆、無事に到達できるか心配になりました。旭山コロボックルハウスでは、保護者の方々と協力し合い、和気藹々とした作業の中、真っ赤な顔をした生徒達が、次々と到着してきて、ほっと胸をなで下ろしました。豚汁には、会長さんのレシピを元に、とても美味しく出来上がりました。お代わりする生徒達の姿に、お母さん達も満面の笑みでした。高校生最後の行事に、子ども達の成長する姿を見ることが出来る貴重な体験をさせていただきました。参加された皆様、誠にありがとうございました。

森下 久枝

本校で毎年開催されています伝統行事の「旭山探検学習」。今年も天候にも恵まれて、無事に実施することができました。当日の朝に、食品加工棟にて調理する食材を切り分けて、車に分乗して、会場となる石巻市河南旭山農業体験実習館「コロボックルハウス」へ運搬しました。

私自身は、子どもが一年生の時から参加し、今年で三回目の参加だったのですが、子ども達が無事にゴールできるのか、毎回不安でした。でも、そんな心配をよそに、達成感に満ちあふれた表情で、ゴールする子ども達を見て、成長を感じることができ、とてもうれしくなりました。また、今年も大変貴重な体験をさせていただきました。生徒達へ提供する「豚汁」も、保護者の方々と協力し合い、予定していた時間内に、完成させることが出来ました。生徒達へPTAの愛情たっぷりの豚汁を提供することができました。

お代わりをする生徒達が多数おり、豚汁は二つの鍋が完食。「本当に作った甲斐があった。」とお母さん達も喜んでいました。とても充実した一日でした。今回も、お手伝いさせていただいたことで、先生方や保護者の皆様（PTA会員同士）との交流も深めることができ、嬉しく思っております。今後多く保護者の皆様方に協力していただいて、先生方と子供達と一緒に行事を盛り上げていける事を楽しみにしております。最後に今回の豚汁作りに参加された保護者の皆様、誠にありがとうございました。

旭山探検学習 豚汁支援に参加して

今野 春美

子どもが高校に入学してから、初めての学校行事。旭山探検学習に参加し、「どんな人が参加するんだろう?」「知っている人、いるかなあ?」「保護者の人たちと馴染めるかなあ?」等々不安がありました。自己紹介等もあり、幾らか緊張の糸が解れましたが、まだまだ、自分の中の緊張がありました。

それでも、豚汁作りの下準備をしていくうちに、保護者の方々と子どもとのことや、学校の事、世間話をしていくうちに、会話が弾み和気あいあいと豚汁の下準備に参加でき、不安も解消されました。また、旭山に移動してからも、保護者の方々と協力しておいしい豚汁ができ、子ども達も暑い中、長い距離を汗をかきながら歩いて、疲労もピークだったことでしょう。私達が、作った熱い豚汁をおいしそうに、友達と食べていた姿。なかなか見れない光景に嬉しさを感じました。

及川 順子

今回、初めて旭山探検学習の豚汁作りのお手伝いに参加させてもらいました。当日は、どんな感じで作業をしていくのか、全くわからなかったのですが、少し緊張しながら学校へ向かいました。でも、その不安な気持ちは、すぐに解消しました。西海士会長さんが、一日の流れと、豚汁に入れる野菜の切り方から豚汁を作る手順をわかりやすくまとめてくれていて、とても効率が良く、仕事を進めることが出来ました。他のPTA役員のお母さん達や、先生方も、みんな気さくな感じでも楽しく豚汁作りができました。

何より、びっくりしたのは、生徒達が歩く距離でした。顔を真っ赤にして、必死で登ってくる1年生だったり、道に落ちているゴミを拾いながら登ってくる先輩がいたり、感心する場面もありました。

この長い距離を、友達や先輩と一緒に歩くことが出来て、「きつくて、最後までやりきることが出来たんだらうなあ...」と思いました。

みんなの表情がとても、頼もしくて、かつよかったです。外で食べた豚汁も最高でした。貴重な一日をありがとうございました。

今後のPTA行事予定

- 11月1日(金) 南郷高祭前日祭(PTA/バザー等準備)
- 11月2日(土) 南郷高祭[一般公開]
(バザー販売・喫茶コーナー)
- 11月8日(金) マラソン大会(豚汁支援)
- 11月21日(木) 大崎支部PTA秋季研修会
- 2月14日(金) 単P第2回役員会(本校大会議室)
- 2月28日(金) PTA新聞第60号発行
- 3月1日(日) 卒業式・PTA退会式

★編集後記★

今年度も、南郷高校のPTA活動が始まり、半年が過ぎようとしております。

お陰様をもちまして、とても充実した活動となり、日頃の御尽力に、深く感謝申し上げます。PTA 会長様をはじめ、クラス委員の皆様の方々の多大なる御理解と、御支援のたまものと感じております。今後の学校行事への益々のご参加と御協力と御理解をお願い申し上げ、編集後記とさせていただきます。

南郷高祭&マラソン大会

協力のお願ひ

◎11月2日(土)に南郷高祭が開催されます。

今年もPTA 恒例のバザーを行います。

なお、バザーにつきましては、例年各会員で物品を提供していただいておりますが、今年度は次のようにさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

バザーで販売する品物について

- 各家庭1品以上のご協力をお願いいたします。
- 着古した衣料品、賞味期限の切れた食品、瀬戸物類、汚損の著しい物品については何卒ご遠慮いただきますようお願いいたします。
- 10月31日(木)まで、生徒を通じて学校へお願い申し上げます。
(保護者の皆様より、直接学校へバザーの物品を持ちいただいても構いません。)

◎11月8日(金)にマラソン大会が行われます。

例年、マラソンを終えた生徒達へ、豚汁とおにぎりを振る舞っております。

学校祭が終了して、直ぐの行事になりますが、PTA 事務局より各御家庭へ協力依頼の文書が配布されますので、ご記入の上、返信をお願い申し上げます。